

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

花盛金生本

八万載部

2807

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

正

へ13
2807

2807

谷盛金生木序



谷盛金生木序
分福老人慕浦島之跡求大龜
却得一鼈也喜曰善哉々々此
得馬之間牛也則乘之行忽至
龍宮城得一木也名金生木背
後有文字其歌曰金之生哉樹

長嶋町五丁目
大野屋惣八

旧
1963
70

木之生乎金與樹木之間生也
 一讀頓悟曰金而已不金樹木
 亦鬻之為金然万物皆金也自
 是而為富人乃書其事請予序
 古語曰生與不生便以芽本知
 也嗚呼此書也實金生木矣欲

金者買而見焉

于時又化三丙寅春

蓬萊山之

福助題



後
 壹步自序
 全
 近影集

が美次うつくしまくわゆる心違をくらにある術を
キウのたまふふとぬまををさるゆい
かくぬくく富きりとおし向氏たる
悦よろこひぬきぬきとつ詞ことばのこころ
盗ぬすをさる道みちをあらはしとさる
垣かきはめく室むろぬくぐら手てぬくくぬ
目めもく及および探たづぬきぬきぬき
くかくぬきぬきぬきぬきぬきぬき

罪つみを治おさめ是こゝまきくめらありとる家
やきまきとる上うへまきやかくか
命いのちぬたきり國くに氏うぢかかえりぬ
ぬあきまを恨にくみぬぬ氏うぢが答こたひぬ
ぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬき
害がいに達たつり天子てんし時ときあり地ち子こ利りあり
天地てんちの時とき利り雲うん雨う乃すなはち
山やま沢たけの産う育まむ
ぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬき
陸くわ禽きん獸じゆを

金主

六

めきき水くハ魚放魚をぬきむ五穀土本
禽獸魚鱉とて天のけしきる如き
あがもの子阿るべしれども我ら二人
一めききむゆり狭き一重珠珍宝
穀綿財貨と人のめききるを
はしれぬきむゆり罪をゆりり
そしきく上農工商とのむむ不ハ天日れ
ともゆきをくちひくはしむりしきき

重銀のちりりざる本あり珠玉出ざる
あり山必海多そりく塩漬と
あり新田をひきき山本とく
里く圃を開発し山海平陸より
金銀を湧せらばいづく困窮しとる
あり一年乃ちりり春の耕しあり
一日乃計を雞鳴子ありとく農商
とも未明し起るありとく比

金生木

七

古の^{ひんがし}貧乏神を^{とん}導出^しせ
 る^も子^も同^しかく^も如^きき^もの^も輩^も追^ひ出^しさ
 ざ^らぬ^も終^つの^の先^{せん}祖^そ代^{だい}々^々不^ふ拵^{ぢう}一^{いち}未^み
 一^{いち}田^{でん}畠^{はつ}屋^や鋪^ぽ子^し離^り別^{べつ}せ^しる^もや^も
 ち^ちの^のゆ^ゆく^くあ^あい^いさ^され^れる^も大^{だい}子^し一^{いち}も
 生^{せい}之^し者^{もの}衆^{しゆ}食^{じき}之^し者^{もの}寡^{くわ}と^と又^{また}之^しき^もり
 づ^づの^のま^まぬ^ぬが^がす^すも^もか^かせ^せぎ^ぎを^をし^しる^も
 毛^{もう}の^のま^まぬ^ぬが^がす^すも^もか^かせ^せぎ^ぎを^をし^しる^もか^かく

油^ゆ断^{たん}なく^く働^{はたら}く^も喜^{よろこ}用^{よう}此^{こゝ}重^{おも}ん^もと^と世^よの^のあ^あら^ら
 重^{おも}ん^もら^らは^はあ^あら^らの^の大^{だい}人^{にん}及^{およ}ぶ^も兼^{けん}好^{こう}法^{ぽう}師^し
 が^がり^りる^もぶ^ぶの^のま^まぬ^ぬが^がす^すも^もか^かせ^せぎ^ぎを^をし^しる^も
 ち^ちの^のゆ^ゆく^くあ^あい^いさ^され^れる^も大^{だい}子^し一^{いち}も
 生^{せい}涯^{げい}の^の番^{ばん}を^をせ^せん^もい^いの^の口^{くち}の^のま^ま
 こ^この^のま^まぬ^ぬが^がす^すも^もか^かせ^せぎ^ぎを^をし^しる^も
 あ^あら^らの^のま^まぬ^ぬが^がす^すも^もか^かせ^せぎ^ぎを^をし^しる^も
 に^にあ^あら^らの^のま^まぬ^ぬが^がす^すも^もか^かせ^せぎ^ぎを^をし^しる^も

金生本
公一トあり極く人々を重んずるありざら
里もあつていふと負ふはこれと
たす人。いふ人、翁がふふをきくは一ツ
と理ありあつていふの方々を
人々も終つて僕もいふはきくは
四半半はうう家のかうとまの
あつて重銀とほやとんその金の
あつてと極くもいふは廣言といふ

いふん。エタヘテそれ富くううふあり財
貨のあつて足つていふは
あり山海の珠味をいふは重銀積
ぐ山乃びいふは初貨は富をいふは
あつて縕袍を衣とて蔬食をいふは
飲もいふは求る事いふは
あつての富をいふは老子もいふ事を知り
あつてもいふは足つていふは七珠

金生本

万宝を折へ盡しむるなりいのか止
 さるハ貧人なりしを知らずは僕をなれ
 入くはつるも君もあしめらる十を
 こそハ世界中はあつてはり人び
 ひらやもあつてはれしは重き人
 あまはつるもあつてはれしは重き人
 かきあつれしは重き人なりしは重き人
 本綿布子しきを防ぎ麻帷子子

暑を凌ぎてあつてはれしは重き人
 流水のあつてはれしは重き人
 多しは重き人なりしは重き人
 船も海濱に候てはれしは重き人
 此の地を繁昌かきてはれしは重き人
 情を出世せむ人なりしは重き人
 ありはれしは重き人なりしは重き人
 あつてはれしは重き人なりしは重き人



